

## 3つのヨコハマ・アート・フェスティバルについて

### 1 3つのヨコハマ・アート・フェスティバルの開催の基本的な考え方

文化芸術による賑わいの定着、経済の活性化を図るために、新たな横浜のシンボリック事業として3つのヨコハマ・アート・フェスティバルを毎年夏から秋にかけて開催します。

「3つのアート」は、言葉によらずに世界の人々が感動を共有できる、美術、ダンス、音楽です。開かれている街・横浜だからこそ、都市を舞台にアートを展開していきます。

フェスティバルでは「世界最高水準・オリジナルな文化芸術の発信」、「横浜らしい景観を活かした賑わいづくり」、「市民協働と子どもをはじめとした次世代育成」に、市民、アーティスト、NPO、企業、行政等「オール横浜」で取り組みます。

#### <3つのヨコハマ・アート・フェスティバルの概念図>



## 2 「Dance Dance Dance @ Yokohama 2012」の開催概要

平成24(2012)年は、「3つのヨコハマ・アート・フェスティバル」の一環として、都市『横浜』を舞台に芸術性の高いものから広く市民が参加できるものまで、様々なジャンルの「ダンス」で「街」を盛り上げます。

- (1) 名 称 Dance Dance Dance @ Yokohama 2012
- (2) 日 程 平成24(2012)年7月中旬～10月上旬
- (3) 主要エリア みなとみらい、関内、山下公園周辺
- (4) 主 催 ダンス・ダンス・ダンス アット ヨコハマ 2012 準備委員会  
(実行委員会へ移行予定)

名誉委員長：黒岩祐治(神奈川県知事)

委員長：林文子(横浜市長)

副委員長：佐々木謙二(横浜商工会議所会頭)

委員：NHK横浜放送局、神奈川新聞社、横浜青年会議所、  
神奈川芸術文化財団、横浜市芸術文化振興財団、  
横浜観光コンベンション・ビューロー(順不同)

### (5) 主な内容

#### (ア) 世界最高水準・オリジナルな文化芸術の発信

世界レベルのダンス、市民や観光客が気軽に参加できるダンスなど、様々なジャンルのダンスを展開します(バレエ、現代ダンス、社交ダンス、フラダンス、ヒップホップなど)。

#### (イ) 横浜らしい景観を活かした賑わいづくり

会場は横浜赤レンガ倉庫、神奈川芸術劇場 KAAT、県民ホールなどの既存ホールのほか、横浜ならではの海を背景とした「野外ステージ」をはじめ、横浜の都市景観を活かした「街」そのものを舞台として、街全体をダンスで盛り上げます。

#### (ウ) 市民協働と子どもをはじめとした次世代育成

市内の学校のほか、企業やNPOなどと連携し、オール横浜で子どもや若者の夢と成長を育みます。

「ヨコハマトリエンナーレ 2011」開催報告について

1 概要

名 称：「ヨコハマトリエンナーレ 2011」

OUR MAGIC HOUR－世界はどこまで知ることができるか？

会 期：平成 23 年 8 月 6 日（土）～11 月 6 日（日）【83 日間（休場日を除く）】

会 場：横浜美術館、日本郵船海岸通倉庫（BankART Studio NYK）、その他周辺地域

参加作家：22 の国と地域から 77 組/79 名、1 コレクター \*作品数=337 件

主 催：横浜市、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

共 催：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

支 援：文化庁（国際芸術フェスティバル支援事業）

特別協力：独立行政法人国際交流基金

入場料：特別連携セット券 一般 1,800 円／大学・専門学校生 1,200 円／高校生 700 円

トリエンナーレ入場券 一般 1,600 円／大学・専門学校生 1,000 円／高校生 600 円

特別連携プログラム：BankART Life III（新港ピア）、黄金町バザール 2011（黄金町エリア）

2 入場者数（速報値）

333,739 人

（有料会場入場者数：303,222 人、同目標：150,000 人）

<内訳> 有料入場者数 250,693 人

有料会場での無料入場者数（中学生以下等） 52,529 人

無料会場入場者数 30,517 人

<会場別内訳>

	横浜美術館 (有料会場)	日本郵船海岸通倉庫 (有料会場)	ヨコハマ創造都市センター 横浜市環境活動支援センター (無料会場)	計
8/6～11/6 【83 日間】	184,562 人	118,660 人	30,517 人	333,739 人

※ 1 日平均 4,021 人（平日 2,550 人、土休日 6,365 人）

3 入場券販売数（集計中）

約 162,000 枚（目標 75,000 枚）

<内訳> 前売券 約 27,000 枚

当日券 約 135,000 枚※

※ 現在集計中のため、一部未集計のものがああります。

裏面あり

#### 4 今回展の概況及び所感

- 最終的に、目標入場者数（15万人）及び目標入場券販売数（7.5万枚）を大きく上回るとともに、会期を通じて各会場は多くの来場者で賑わった。
- 今回展の有料会場（2会場）への来場者数（303,222人）は、第1回（2001年・2会場）の349,179人、第3回（2008年・4会場）の307,589人に次ぐ実績となった。
- 入場券販売数（約16万枚）は、現在一部集計中だが、過去最高の第1回（約17万枚）に達する実績となる見込み。
- 今回展では、多くの家族連れやお子様にご来場いただくとともに、会場では多くの年齢の方々の姿も見受けられ、過去の開催と比べて幅広い年齢層の方々にご来場いただいた。
- トリエンナーレ会場への団体受入数は、146団体（うち学校関係105団体）に上った。
- 周辺で特別連携プログラム（BankART Life III、黄金町バザール2011）が同一の会期で開催されたほか、70の連携プログラムが実施された。
- あわせて、トリエンナーレ会場と特別連携プログラム会場を結ぶ会場間無料バスの運行や「OPEN YOKOHAMA 2011」キャンペーンを同時開催し、街の賑わいに寄与した。

## 横浜トリエンナーレ開催実績

	第1回	第2回	第3回	第4回 ※総事業費以下の数値 は集計中の速報値
開催年	2001	2005	2008	2011
会期	9月2日～11月11日 (71日間) * 休館日4日含む	9月28日～12月18日 (82日間)	9月13日～11月30日 (79日間)	8月6日～11月6日 (83日間)※休場日を除く
主会場	[2会場] パシフィコ横浜展示 ホール 赤レンガ倉庫1号館	[1会場] 山下ふ頭3号・4号上 屋	[4会場] 新港ピア 日本郵船海岸通倉庫 (BankART Studio NYK) 赤レンガ倉庫1号館 三溪園 他無料3会場	[2会場] 横浜美術館 日本郵船海岸通倉庫 (BankART Studio NYK) 他無料2会場
テーマ	メガ・ウェイブ 新たな総合に向けて	アートサーカス 日常からの跳躍	TIME CREVASSE タイムクレヴァス	OUR MAGIC HOUR 世界はどこまで知ることが できるか？
ディレクター	アーティスティック・ ディレクター: 河本信治 建島 哲 中村信夫 南條史生	総合ディレクター: 川俣 正	総合ディレクター: 水沢 勉	総合ディレクター: 逢坂恵理子 アーティスティック・ ディレクター: 三木あき子
キュレーター		天野太郎 芹沢高志 山野真悟	ダニエル・バーンバウ ム、フォー・ファン、 三宅暁子、ハンス・ ウルリッヒ・オブリス ト、ベアトリクス・ルフ	
参加作家数	109作家	86作家	72作家	77組/79名
作品数	113件	84件	66件	337件
総事業費	約7億円	約9億円	約9億円	約9億円
総入場者数	35万人	19万人	55万人	約33万人
有料会場 入場者数	約35万人※	約16万人	約30万人※	約30万人※
チケット 販売枚数	約17万枚	約12万枚	約9万枚	約16万枚
ボランティア 登録者数	719人	1,222人	1,510人	939人

\*第1回、第3回、第4回については、有料会場の延べ入場者数